

5) ハタハタ資源調査

倉長 亮二

目的

本県の主幹漁業である沖合底曳網漁業の重要魚種の一つとなっているハタハタの資源生態調査を行うことにより、資源の維持増大と漁業経営の向上を図る。

方法

- ①本種の漁獲動向および雌雄別体長別漁獲尾数を把握するため、主要水揚げ港である賀露、網代、田後、境港において、市場測定、漁獲統計調査、生物調査を行う。
- ②隠岐島周辺海域においてトロールによる試験操業を行い、魚群の分布状況を把握する。

結果

①ハタハタの漁獲量は1975年から2005年まで大きく変動しながら推移しており、2004年は1,275 tと大きく減少したが、2005年は2,647 tで前年の2倍以上の漁獲量であった。これを前後5年平均値でみると、1985年前後にピークを迎え、以後、減少傾向にあったが、1995年前後を境に微増傾向にある(図1)。

次に2005年の月別漁獲量を図2に示した。月別漁獲量では12月を除きすべての月で前年を大きく上回り、近年では漁獲の多かった2003年の漁獲量と比較しても3月以降すべての月で上回っていた。

さらに、市場調査、生物調査結果および統計調査から組合(支所)別月別雌雄別体長別漁獲尾数を求め、図3-1~3に示した。10月以降、漁獲量が少なくなったため、賀露では10月及び11月、網代では12月、田後では10月から12月が欠測となった。3地区の体長別漁獲尾数を比較すると、1月から3月はどの地区とも体長15cm以上の2歳魚を水揚げしていた。これが4月になると網代では体長13cm付近にモードを持つ1歳魚、田後では体長11cm付近にモードを持つ1歳魚を水揚げし始めた。さらに、5月になると賀露でも1歳魚を水揚げし始め、田後では1歳魚が水揚げの主体となった。ここで、田後と網代で1歳魚の体長が大きく異なっているが、これは網代地区では8節程度の大きい目合い袋網を使用し、小さい個体は選別しているためと思われる。また、休漁期をはさみ、9月以降は1歳魚が成長した、体長

15cm前後の個体のみの水揚げとなっていた。

これら3地区の体長組成を足し合わせ、鳥取県の月別雌雄別体長別漁獲尾数を算出し、図4及び表1に示した。2005年の鳥取県のハタハタの漁獲尾数は約6,000万尾で、昨年より約3,000万尾多い漁獲尾数であった。その組成は、2004年同様、2歳魚を主体とした漁獲であり、漁獲尾数は2004年の約2倍に達していた。また、年間合計では3年連続して2歳魚主体の漁獲となっている。

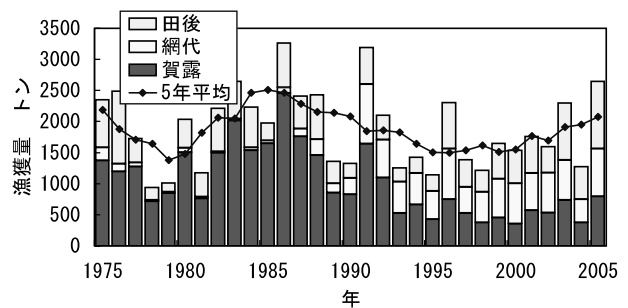


図1 ハタハタ漁獲量の年推移

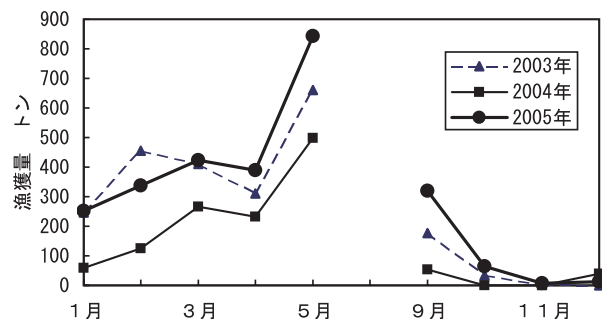


図2 ハタハタの月別漁獲量の比較

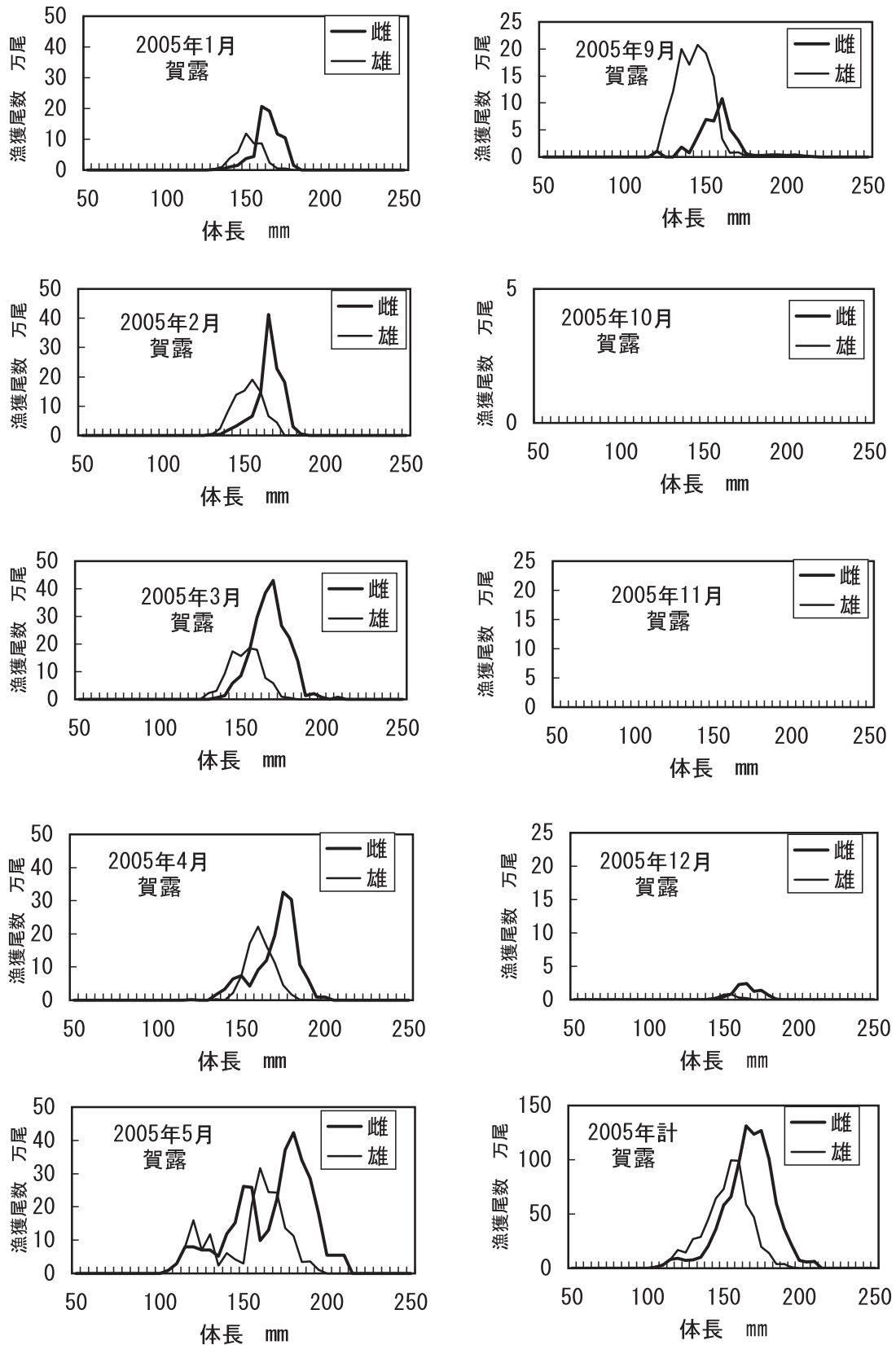


図3-1 ハタハタの月別雌雄別体長別漁獲尾数（賀露）

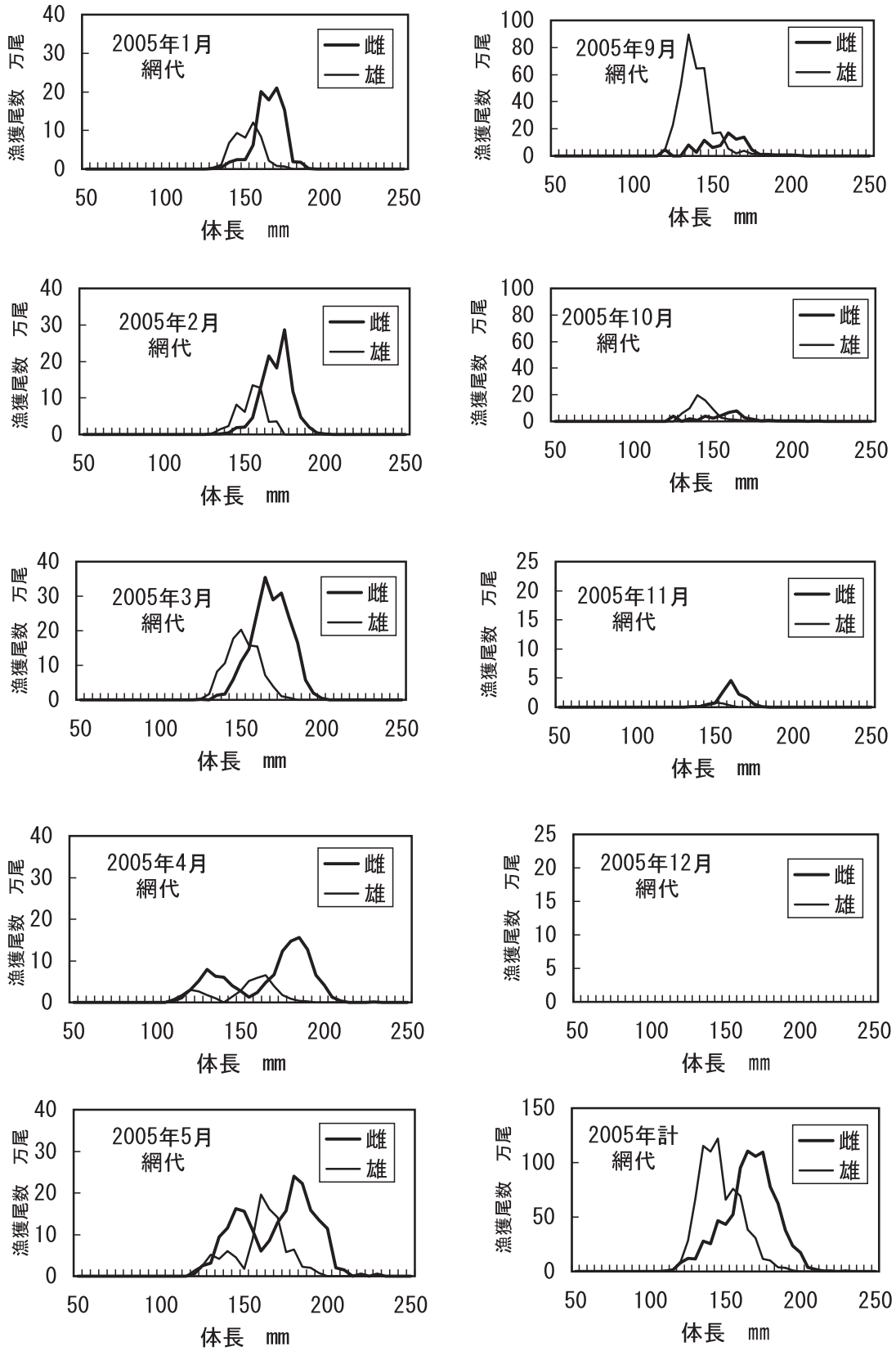


図3-2 ハタハタの月別雌雄別体長別漁獲尾数(網代)

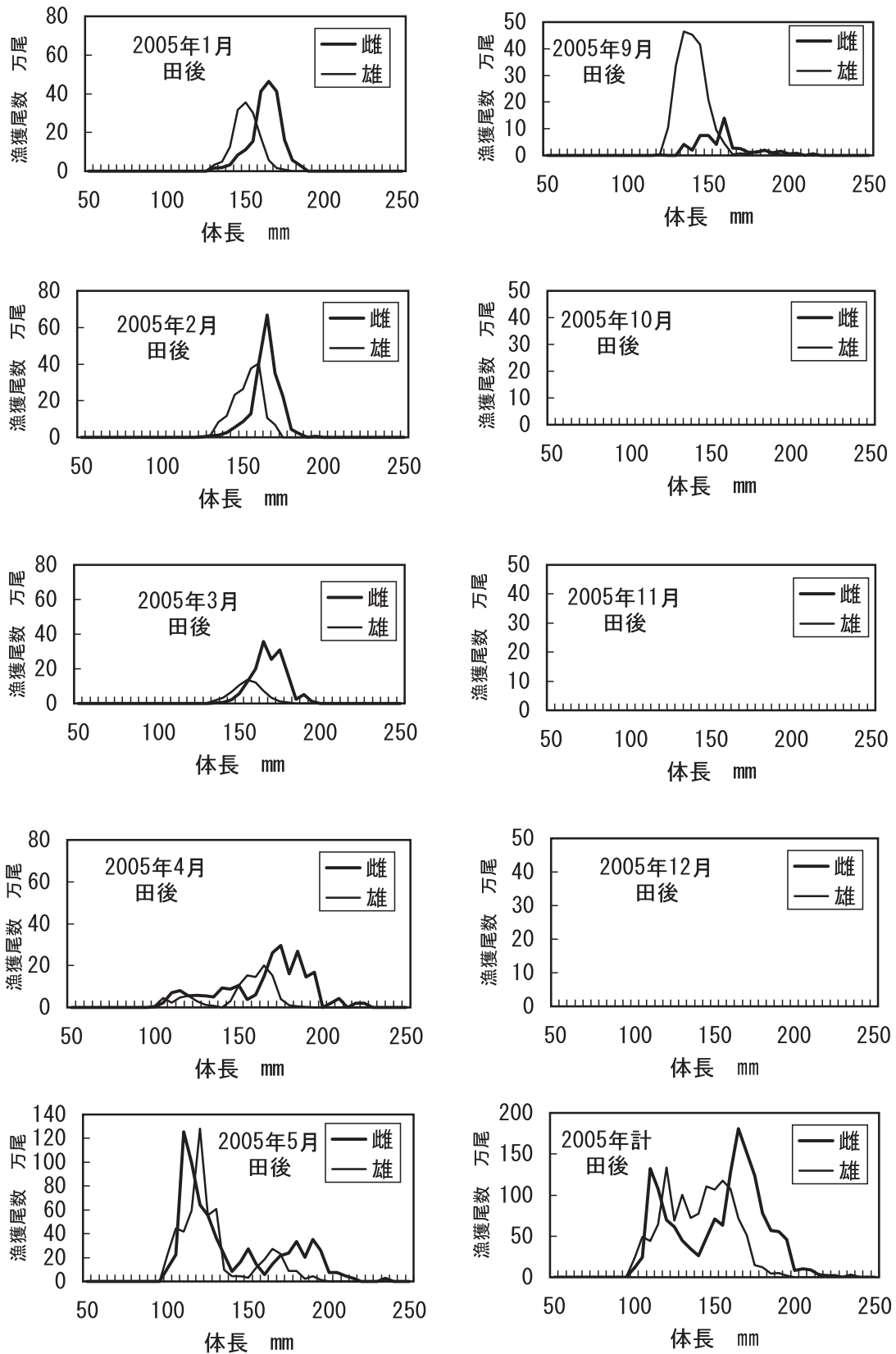


図3-3 八タ八タの月別雌雄別体長別漁獲尾数(田後)

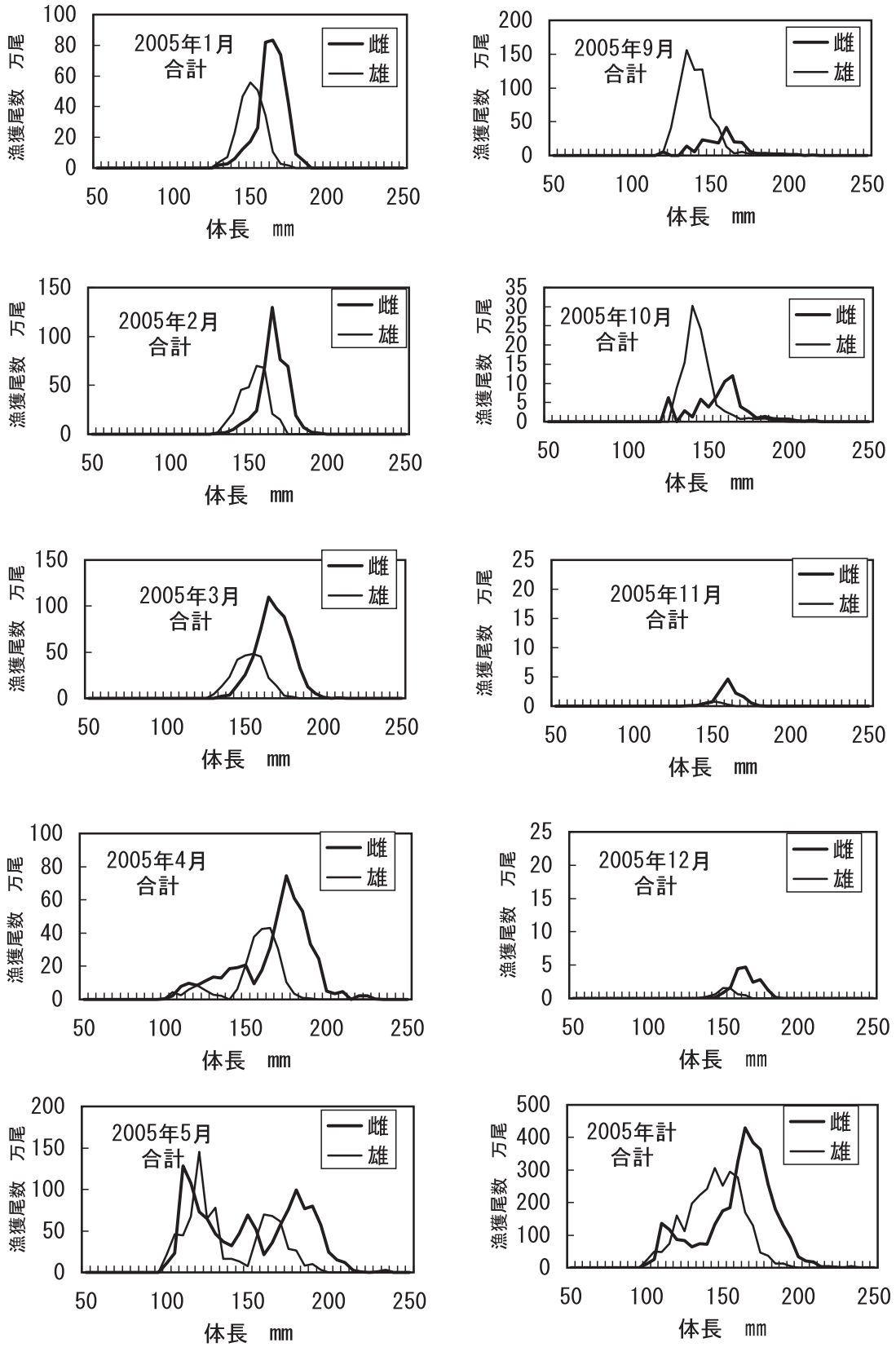


図4 鳥取県のハタハタの月別雌雄別体長別漁獲尾数

②試験操業は、2005年8月1日から8月11日に、図5に示す隠岐島周辺海域の水深102mから520mの範囲で行った。操業位置および結果を表2に示した。ハタハタのC P U E（一網当たりの漁獲量）は、本県沖合の水深197mから226mの海域で最も高く137kg/網から147kg/網であった。これは昨年最も高い値であった137kg/網と同程度であるが、20kg/網以上を

漁獲した調査点は昨年より5点多く、昨年に比べ全体に広く、高密度に分布していたと思われる。

次に、調査点別体長別漁獲尾数を図6に示した。すべての調査点で出現した体長の範囲は105mmから210mmであったが、主な出現範囲は130mmから160mmで1歳魚が主体となっていた。このうち、隠岐島西側については、水深167mのSt.14では140mmにモードがみられ、雄主体の分布であり、水深204mのSt.29では雌雄同程度、水深212mのSt.16では雌主体となり、モードも145mmと大きくなっていた。一方、本県沖合海域では水深197mのSt.8で140mmにモードがみられ、雄主体の分布であり、水深226mのSt.6で雌雄同程度、水深250mのSt.7では雌主体となっており、隠岐島西側より、やや深い分布水深となっていた。また、これらの結果は、8月26日及び29日に賀露、網代田後地区の漁業者及び仲買に対し、沖底漁期前報告会として報告した。

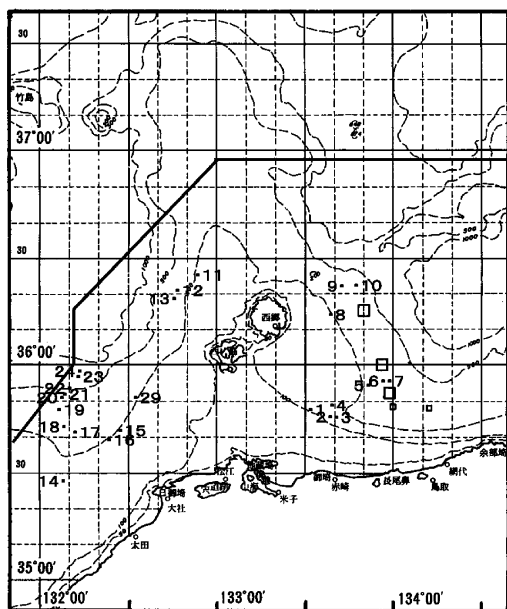


図5 試験操業位置図

表2 試験操業結果

年月日	番号	操業開始位置		開始水深	終了水深	操業時刻	主な魚種の漁獲重量 (kg)				その他
		北緯	東経				ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	クロザト	
2005年8月1日	1	3547.3	13332.7	102	102	11:44					小アジ、ケンサキ等
2005年8月1日	2	3546.2	13339.2	122	128	13:15					
2005年8月1日	3	3546.8	13340.2	149	153	14:40	0.0		1.2		ニギス480kg
2005年8月1日	4	3549.4	13339.6	192	194	15:55	6.5	7.5	3.8	0.8	
2005年8月2日	5	3554.9	13351.6	209	216	11:20	26.0	6.0	1.1	1.1	
2005年8月2日	6	3555.0	13355.5	226	237	9:33	147.0	5.0		0.6	0.2
2005年8月2日	7	3555.1	13359.2	250	253	7:54	45.7	5.8		0.1	0.1
2005年8月3日	8	3614.1	13339.8	197	198	8:00	137.5	3.5	0.1	0.1	
2005年8月2日	9	3622.6	13342.8	218	222	16:56	14.4	2.0		1.6	2.3
2005年8月2日	10	3622.7	13347.2	255	256	14:12	10.0	3.8		0.2	0.2
2005年8月4日	11	3627.2	13253.3	188	187	7:51	39.0		0.3	1.3	
2005年8月4日	12	3620.3	13247.8	223	233	10:03	11.5		1.5	5.5	0.4
2005年8月4日	13	3619.7	13245.5	249	258	11:40	12.0		0.4	0.7	0.6
2005年8月8日	14	3528.1	13209.3	167	169	15:51	32.3			5.2	
2005年8月11日	15	3542.8	13227.6	188	186	8:12	11.5		1.1	2	
2005年8月9日	16	3539.4	13214.2	212	213	8:59	44.5		1.5	3.8	
2005年8月9日	17	3541.5	13211.0	234	235	10:57	18.8		1.5	1.7	
2005年8月9日	18	3543.4	13208.8	253	256	12:46	9.5	0.5		0.8	モロトゲアカエビ6kg
2005年8月9日	19	3548.3	13206.9	325	338	14:45	1.0		1.7		9.5
2005年8月9日	20	3550.7	13208.7	376	393	16:40			8		8
2005年8月10日	21	3552.2	13209.6	457	465	11:48			9		13
2005年8月10日	22	3553.2	13210.1	513	520	11:48			4.5		12
2005年8月11日	29	355136	13232.4	204	202	9:50	35.3		0.5	4.5	

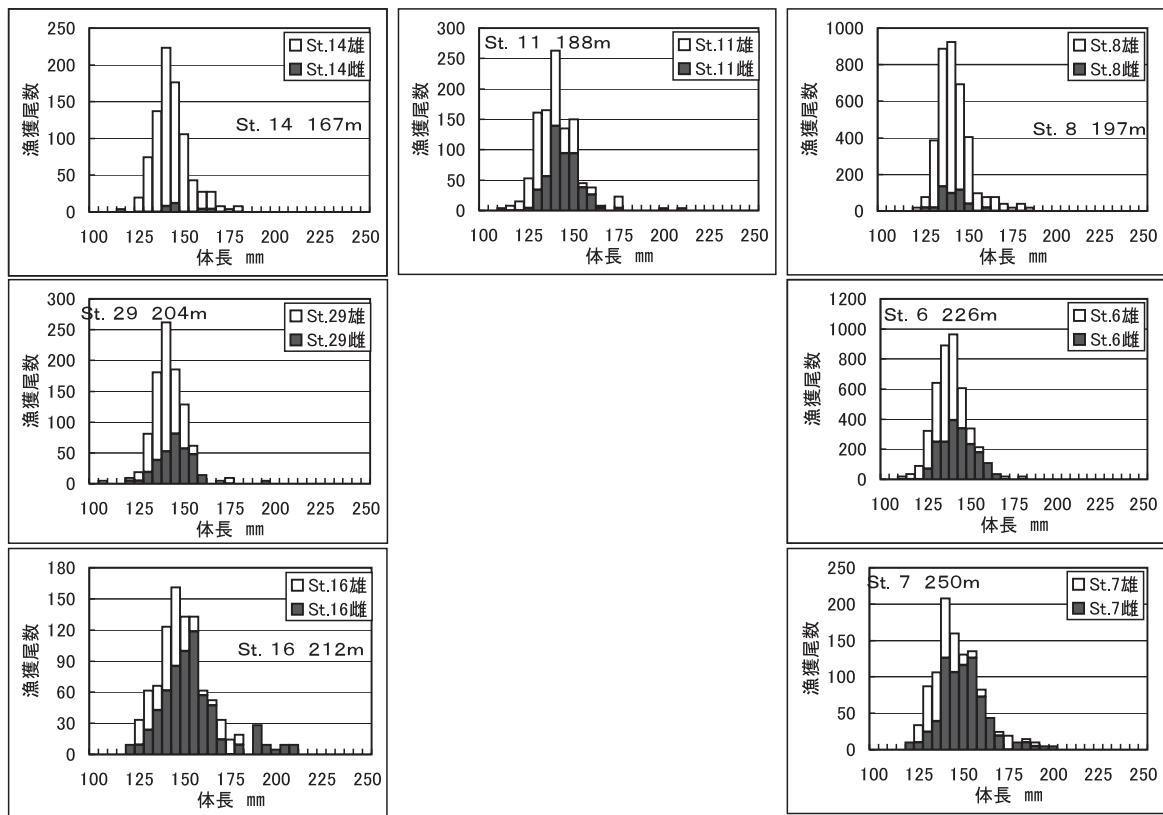


図6 海域別のタタキの体長組成